

2016年度（平成28年度）にこにこ会 事業報告

はじめに

1998（平成10）年より、働く事をテーマに取り組んできましたにこにこ会ですが、近年働き方が様々に変化してきているのが伺えます。制度も次々と変わり、企業も参入している時代となり、必要と思い始めた事業も利用者が集まらなくては継続することは困難です。事業主として、何のために事業を展開しているか設立主旨を違えない様にすることが大切です。

	訓練等給付費 合計	一人当たり日額単価
就労継続支援 A型	24,998,340 円／年 (当初予算 28,160,000 円)	5,840 円 (サービス費)
		60 円 (福祉専門職員配置加算)
		300 円 (食事提供加算)
		1,000 円 (施設外就労加算)
		260 円 (就労移行体制加算)
就労移行支援	6,240,940 円／年 (当初予算 10,456,000 円)	8,040 円 (サービス費)
		60 円 (福祉専門職員配置加算)
		300 円 (食事提供加算)
		2,370 円 (就労定着支援体制加算)
		110 円 (就労支援関係研修修了加算)

就労継続支援 A 型・就労移行支援共通

1) 職員配置の状況

2016年3月1日

職名	職員数	備考	国基準
管理者	1名	兼務 A型・移行型	1人以上
サービス管理責任者	1名		1人以上
生活支援員	2名	内、契約職員1名 A・移行	1.25人以上
就労支援員	1名	移行型	1人以上
職業指導員(施設外就労担当含)	3名	A型・移行型	2.25人以上
調理員	1名	契約職員	

2) 昼食の提供

2016年度材料費一食 250円（光熱水費含まず）－利用者負担－

献立・給食だよりを毎月発行（健康管理を促す）

*管理栄養士を中心に、安心・安全・安価そしておいしいをモットーに作る

*事業所の成果物を使用する

3) 健康管理

健康診断 医療機関による健康診断（福山検診所） 6月27日

インフルエンザ予防接種 11月9日

4) 非常災害対策

消防訓練 通報・避難及び消化訓練 2017年1月10日

通報・避難訓練 2017年3月30日

5) 研修

職員対象

- ・ 5月 28日～11月 5日 (25回) 旭川荘療育アカデミー障害児(者)療育総合課程
- ・ 8月 24・25日・31日 就業支援基礎研修
- ・ 8月 26日 旭川荘療育アカデミー臨地実習
- ・ 12月 6日 HACCP 講習会
- ・ 12月 20・21日 広島県サービス管理責任者研修
- ・ 12月 21日 給食施設研修会
- ・ 12月 22日 感染症予防研修
- ・ 2017年 2月 2日 広島県障害者虐待防止・権利擁護研修
- ・ ネットワーク会議 10回

内部研修

- ・ 事業所間交流研修 8月 21日～ 26日 (にこにこ会→にこてらす)
12月 4・7日～10日 (にこてらす→にこにこ会)
10月 17日～21日 (共同生活ほいーる→にこにこ会)
- ・ 人権擁護、学習・研修---月 1回会議を持つ

6) 地域との交流

- ・ 地域小学校の体験学習(社会見学)の受け入れ
湯田小学校 3年生…10月 25～28日(火～金) 137名+6名
*2004年からさをり織の織体験と福祉会の説明を続けている
- ・ チャレンジ・ウィークふくやま(中学生の職場体験)
福山市立神辺中学校…2名(8月 22～26日 2日間にこにこ会にて対応)

7) 報告

- ・ 商品のクレーム 3件
- ・ 職員の支援のクレーム 1件

就労継続支援A型事業

今年度も広島県の最低賃金が24円上がりました。働く者にとりましては喜ばしいことですが、事業主側にとりましては人件費確保のために売上を上げるといふかなり厳しいものがありました。障がいの特性を理解しながら尚且つ生産性を上げていく。諸刃の剣にならないよう共に喜べる環境となるように願った一年でした。一般就労したいとの願いをもち、そのチャンスのある人は支える体制を取り送り出しました。又、生活困窮者自立支援センターとの連携で、就労の場の提供を試みましたが、継続には至りませんでした。利用定員数は欠員が出てなかなか充足出来ないのが現実でした。又、各作業に於いてIT活用の必要性を感じた年でもありました。作業量・技量により従業員も複数の作業に関わる。当然職員も全ての作業の動きを把握することが重要となり、連携は大きな課題となりました。

1) 利用人数

定員 14名

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
人数	13	14	15	14	13	13	13	13	13	14	14	13

*6月30日退職（一般企業へ就職）

*平均年齢…32歳（50歳代－1人・40歳代－1人・30歳代－5人・20歳代－6人）
（2017年3月31日現在）

2) サービス提供日数

263日

3) 従業員給料（月平均）

月平均—100,994円（2015年—97,388円）

最低賃金 769円→793円（2016年10月1日より）

最低賃金減額特例者1名 最低賃金の50%（2016年10月1日現在）

4) 就労事業

就労支援事業収入 47,590,718円 就労支援事業支出 46,361,110円

たれ事業 23,768,632

原材料仕入高 21,250,171

コロッケ事業 8,050,446

労務費 18,773,088

手織り・縫製事業 5,977,187

経費 6,337,851

串事業 3,652,257

清掃事業 2,083,068

収支差額 1,229,608円

牛舎清掃事業 1,632,960

その他 2,426,168

・たれ事業 粗利 37%（H27年度 43%）

主たる商品の常温化により作業の効率化を目指すも、まだ達成出来ていません。材料の価格変動により粗利の減少は今後の大きな課題となります。IT化が急がれる所です。

・コロッケ事業 粗利 63%（H27年度 38%）

7月に新人従業員が入るが1名退職する。工程によっては、他の部署から入る。粗利が高かったのは、北海道からのじゃがいもが災害の為収量が少なかった事が大きく起因している。学校給食もコロッケよりミンチカツの注文が主です。

・手織り・縫製（さをり）事業 粗利 67%（H27年度 65%）

縫製技術の高さと素早い対応が評価を得て、指名して頂く件数が増えている。従業員の縫製技術は確実に向上している。福山市の敬老会記念品に今年度も使用して頂き、売上げ増に大いに貢献して頂いた。

・串事業 粗利 94%（H27年度 92%）

従来就労移行事業の利用者が中心で作業を行う。しかし、定員不足から企業の求める製造数に対応しきれず、A型従業員を導入する。

・清掃事業（施設外就労対象事業）

企業内清掃のため従業員は固定している。非常勤職員での対応となっているため、支援が行き届かなかった点が見受けられた。

・牛舎清掃事業（施設外就労対象事業）

今年度は4人態勢で対応できた。気候に左右される環境な中で個人の頑張りが光ったところでもあった。

就労移行支援

昨年から定員不足を言いながら、本年は正に危機的状況になりました。当初、2年という期限のある中で一般就労を目指す制度は、様々な受け取り方があるものの、当事業所では、成果を上げてきていました。しかし、障がいの多様化、事業所の多様化に伴い就労移行支援事業所を求める人が少なくなりました。制度的には必要とする人はいると思われませんが、募集しても求める人がいないのが現状でした。又、支援の内容も障がいの多様に伴いスキルアップも必要です。事業そのものの見直しを含め、しばらく休止も必要な対応と思います。

1) 利用人数

就労移行支援（定員6名）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
人数	3	3	2	2	2	2	2	2	3	3	2	2

・一般就労 0名

・A型へ就労 1名 6月 にこにこ会 A型
1名 2017年2月 A型事業所「継之助」（井原市）

・退所 1名 3月 事業所変更（にこにこ会休所の為）

2) サービス提供日数

261日

3) 利用者給料（利用者工賃取扱規程による）

A 15,783円（在籍1年6ヶ月）

B 3,750円（在籍2年）

C 36,423円（在籍2ヶ月）

D 16,256円（在籍4ヶ月）